

各学科、コースの代表の生徒が「志」を書いた作文発表をしました。例年は、体育館で全校生徒の前での発表となりますが、今年の発表会は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、1年生のみが体育館で発表を聞くことになりました。司会も1年B組の田中修真くん（玖珂中出身）、1年G組の大枝未夢さん（室積中出身）の二人が務め、最後に廣川校長の講評がありました。



普通科総合コース 政森飛翔くん

高校三年間の私の目標は、毎週水曜日には必ず祖父の家に行き、出来るだけ介護することです。この目標にした理由は、私の祖父は今年で八十歳になり、少しでも祖父の体が休まるようにと思ったからです。中学校一年生のときに私は祖母を亡くしました。そのときにとっても後悔したことがあります。小学生までは毎週のように家に遊びに行っていたのですが、中学生になり部活動が始まったことで忙しくなり、当時は話すばかりか、会うことすらろくに出来ていませんでした。そのような日々を送っているうちに祖母は亡くなりました。私はこの後悔を一生忘れることはないと思います。「二度とそのような思いをしたくない。」そのときに祖父に対しては出来る限りのことをしたいと思いました。

介護をするときに大切なことは、はっきりとはわかりませんが、自分の中では「笑顔」ではないかと思っています。私が笑顔で接することで祖父も笑顔になり、安心するのではないかと考えました。それとは別に今後していく介護の具体的な方法を少しずつ勉強していきたいです。また、祖父に健康的な食事を取ってもらえるようできるときには家で夕食の手伝いをしながら少しずつ上達させていきます。

これから、学校と祖父への介護との両立でつらく大変なこともあるとは思いますが、やりぬくと決めました。そして祖父の前ではいつも「笑顔」でいたいと思います。何より、祖父は寂しい思いをしているので話相手になってあげたいです。その会話の一つとして学校であった出来事を話したいと思います。

「テストで五教科の平均点を七十五点以上とるという目標を達成し、クラス内で十位以内に入ったよ。」という報告ができればきっと祖父も喜んでくれます。そのような報告ができるよう学校生活も怠ることなく頑張りたいです。祖父がこれからもずっと健康でいられるようサポートし寄り添える人になります。

普通科社会福祉コース 兼石愛実さん

私は、将来少人数の高齢者の方と向き合うことのできるグループホームで介護福祉士として働きたいと思っています。その夢を叶えるために聖光高校に入学しました。

私は、夢の実現に向けて二つの目標を立てました。一つ目は、「臨機応変に対応する力」を身につけることです。この力は介護の現場で働くために大切なことだと思っています。特に、その中でも判断力・思考力・行動力を身につけていきたいです。そのためにも、校外で行われる介護実習を頑張りたいと思っていたのですが、コロナウイルスの影響で、今年度の実習は中止となりました。とても残念な気持ちです。しかし、実習が中止となった今だからこそ、行動力が試されると思います。自分自身で実習に代わることを見つけ、それを最後までやり切りたいです。そして、二、三年生で行われる実習に自信をもって臨めるように気持ちを高めていきたいと思っています。

二つ目は、「仲間との絆を深める」ことです。社会福祉コースでは、三年間クラスメイトが変わりません。そして、三年後には介護福祉士の国家試験に合格するという共通の目標をもって学校生活を過ごしています。だからこそ、三年間を通して、共感しあったり、励まし合ったり、指摘し合ったり様々な経験を共にし、一人ひとりのことを理解しながら過ごしたいと思っています。そのためにも、様々な人とのコミュニケーションを大切にしたいです。コミュニケーション力は、人と関わる仕事をする上では必要不可欠なものになります。自分自身の思いを他者に伝えたり、他人の気持ちを理解して関わったりすることで信頼関係が生まれ、より良いサポートができると思います。

中学校を卒業したと同時に、義務教育も終わりました。高校生となった今、大切なことは

積極性です。私は、この二つの目標を達成するため、積極的に行動することを心がけ、充実した高校生活を過ごしたいと思います。

普通科進学コース 五十嵐美雪さん

私は将来、仕事を通じて様々な人に出会いたいと思っています。人生で出会える人の数は限られていますが、その一人一人との出会いには大きな影響力を持っていると思います。そこで私は「一期一会」という言葉があるように人との出会いを大切にしていこうと思いました。その一つ一つの出会いを実りあるものにするために、言葉や伝え方に違いがあっても誰とでもコミュニケーションがはかれるようにすることが重要だと考えました。

そこでまず、私は語学の勉強を始めました。もともと世界の国の言語や文化に興味を持っていました。初めて書店で言語学の本を手にとったときは本格的に言語を勉強する理由とまではなかったのですが、結果的には進路の方向性を決めるきっかけの一つになったので良かったと思います。今はまだ直接的に他国の人と関わったり、接点を持ったりする機会はありませんが、いつか私の身につけた語学が人と話すきっかけになったり、言葉が通じず困っている人の助けになったらと思います。また、私たちが大人になる頃にはグローバル化が更に進み、英語などの言語を必須とする職業や会社が増えてくることでしょう。身につけた語学力は仕事でも日常でも生かせることができ、自分の強みになると思います。今は英語と中国語とスペイン語の三つの言語を高校生活でしっかりと勉強して三年後、言語学をある程度習得した状態で進学し、進学後は自分の力を様々な場所で試してみたいです。また、新しく手話の勉強もして、コミュニケーションの手段を増やすということも大切だと思っています。そのために、今は指文字を覚え会話ができるように頑張っています。

今からたくさんの人と出会うそのときに、三年間の高校生活で頑張った語学や手話の勉強が生かせるように三年間しっかりと勉強していきます。そしてこの勉強が有益なものだったと思える人生に繋げていきたいです。

総合ビジネス科情報ビジネスコース 徳原大也くん

僕が高校三年間で頑張りたいことは三つあります。一つ目は、立派な社会人になることです。僕は中学生の頃、人前で話すのが苦手でした。しかしそれでは社会人としてやっていけません。聖光高校の総合ビジネス科に入学したのは、商業の勉強をしてみたいからです、それと同じくらい、人として成長したいという思いが強かったからです。立派な社会人になるためには、今の自分を変えていかなければなりません。そのためにも、人前で話すことを得意になる、ということが課題だと考えました。ビジネスの世界では、コミュニケーショ

ンが大切です。相手に良い印象を与えるためにも、大きな声で自信を持って話し、信頼される人になりたいと思います。

二つ目は、資格をたくさん取得することです。僕は、資格を活かした職業に就きたいと考えています。目標は一級をとることですが、もちろん簡単には合格できません。日々の努力が全てだと思うので、日頃の授業を真剣にうけることはもちろん、家庭学習や、空いた時間を有効活用するなど、工夫をして試験に臨みたいと思います。

三つ目は、部活動です。僕はアーチェリー部に入部しました。聖光のアーチェリー部は、インターハイにも出場している強いチームです。僕も、この舞台に出てみたいと思って入部しました。やってみると、アーチェリーはとても難しい競技だと分かりました。弓を引く力や、的を狙う集中力が必要です。部活動の時間だけでなく、自主トレーニングが必要だと思ったので、自宅でも体幹トレーニングを行うようにしています。目標は、大きな大会の舞台に立つことですが、簡単なことではありません。まずは基本を大事にする先輩たちのプレーを参考にして、研鑽を積みたいと思います。卒業したら就職したいと考えている自分にとって、高校生活は最後の学校生活となります。悔いの残らないように、全力で取り組んでいきたいと思います。

総合ビジネス科医療ビジネスコース 吉良静音さん

私の夢は、誰からも頼られる歯科衛生士になることです。そう思うようになったのには二つの理由があります。

一つは、昔お世話になった歯科衛生士さんの影響があります。私は幼い頃から、歯科医院によく通っていました。私にとって歯科医院はとても怖い場所であり、いつも行くのを嫌がっていました。しかしある時、治療が始まる前に、私の恐怖心を少しでも和らげようと、歯科衛生士のお姉さんが優しく話しかけてくれました。この時以来、歯科医院に行くことへの恐怖心がなくなりました。そして、歯のことだけではなく、患者さんの気持ちに寄り添える歯科衛生士を、立派な職業だと思うようになりました。

二つ目は、歯科衛生士である母の影響があります。私は今までに何度か、母が働く姿を見ることがありました。しっかり患者さんとのコミュニケーションをはかり、気持ちを理解しながら仕事に取り組む姿は輝いており、憧れを持つようになりました。

夢を実現させるためには、高校生活を真剣に過ごさなければなりません。歯科について学び、専門性を高めるとともに、三年間で基礎学力を確実なものにして、専門学校へ進学できるように準備していきたいと思います。また、患者さんには自分から積極的に話しかけ、気持ちをくみ取る必要があるため、コミュニケーション能力が必要になります。特に、言葉遣いや態度などは、失礼のないようにしないといけません。学校生活を通してできるだけ多くの人と会話をし、社会的なマナーを身につけたいと思います。

学力を高め、人間性を磨き、人から言われて行動するのではなく、自分から率先して行動できる人になります。そしていつかは母のように、患者さんの気持ちを理解できる立派な歯科衛生士になります。

機械科 田中凌志くん

夢をもつことが恥ずかしいと思っている人はいませんか？僕は夢をもつことはとても大切なことだと感じています。夢や希望をもつことによってその人の生き方の方向性が決まります。だから、夢をもつことは誰にとっても大事なことなのです。

僕には夢が二つあります。まず、一つ目は聖光高校野球部として、甲子園に出場することです。甲子園という舞台は、高校球児にとって憧れの舞台で簡単に行けるものではありません。野球はチーム力が試されるスポーツです。一度負けたら敗退という厳しい勝負の中で戦わなければなりません。球場の緊迫した雰囲気によるプレッシャーに打ち勝つためには、日頃の練習がとても大切になってきます。ミスをしたところや上手くいっていないところを指摘し合い、意見をぶつけあうことによって、個人の動きやプレースキルを磨くことができ、結果的にチーム力の向上につながります。チーム全員が何事にも手を抜くことなく、全てのことに全力疾走の精神で取り組むことで、チーム全体の士気が上がり中身の濃い良い練習をすることができます。これらのことを意識して練習し、甲子園出場という夢を叶えて見せます。

二つ目の夢は、トヨタ自動車に就職することです。トヨタ自動車は大手企業なので今の自分の学力では難しいと思います。しかし、これから様々な資格の取得や、その日にあった授業の内容を家に帰って復習をするなど、こつこつと続けていけば夢への道は広がっていくと思います。野球部の活動と両立していくことは簡単ではありませんが、決して諦めず継続していきたいです。

この二つの夢を叶えることは本当に難しいことだと思います。夢の結果はその時になってみないと分かりません。しかしながら、この夢を追いかけることで得られることもたくさんあるのではないかと思います。皆さんも夢の力を信じてみませんか？